

# 記入例

様式第1号（第5条関係）

## 御殿場市市民活動支援事業補助金交付申請書

【申請日付】  
交付申請書を提出する  
日付を記入してください

令和2年4月1日

御殿場市長 様

【申請者の情報】  
団体の所在地、団体名、団体の代表者  
名を記入し、押印してください。  
※インク浸透印は不可

【申請年度】  
交付申請書を提出する  
年度を記入してください

所在地 御殿場市萩原483番地  
団体の名称 協働のまちづくりを広める会  
代表者の氏名 協働 太郎 印

令和2年度御殿場市市民活動支援事業補助金の交付を受けたいので、下記のとおり申請  
します。

記

事業名	ワークショップによるまちづくり推進事業
補助金交付申請額	30,000 円
事業の実施期間	令和2年4月30日から令和3年3月31日
添付書類	① 事業計画書 ② 事業収支予算書 ③ 参考となる資料（カタログ等）

【申請事業の情報】  
申請する事業の名称、補助金の申請額、事業の実施期間を記入してください。  
〔注意点〕  
①事業名は自由に記載できますが、事業内容を簡潔に表現してください。  
②補助金交付申請額は別紙「収支予算書」の補助金額と合致させてください。  
③事業の実施期間は事業を開始する日から、事業が完了する日までとしてください。  
※開始…「申請日付」以降の日 ※終了…同じ年度の3/31までの日

# 記入例

## 事業計画書

### 【事業計画書】

事業をどのように実施するか、ある程度具体的に書いてください。

※書き方は自由です。

事業名: <u>ワークショップによるまちづくり推進事業</u>	①趣旨・目的 (どのような課題を、どうしたいのか)
[趣旨・目的]	②事業内容 (具体的にどのように事業を行うのか)
「地域課題」を住民の手で把握し解決していく取り組みが各地で行われていますが、その	
方法の1つである「ワークショップ」は、多くの住民にはあまり馴染みのないものです。しかし	
地域自治の拡充が求められている中で、幅広い年代の住民と一緒に地域づくりを考え、実	
践していくためには、もっと気軽に話し合える環境や主導できる人材が必要です。	
そのため初心者でも参加し易いワークショップの定期開催と、その成果を広く発表する展	
示発表を行い、広く住民にワークショップの楽しさ、面白さなどの魅力を感じていただくこと	
で、「地域づくり」・「まちづくり」が活性化するための基礎づくりに取り組みます。	
[事業内容]	
① <u>定期ワークショップ</u> (身近な地域課題をテーマに設定し、実践を通じて体験する)	
[開催回数] 6回 (6～8月、10～12月、毎月第1土曜日(10:00～12:00))	
[会場] 御殿場市民会館 [対象者] 希望者 各10名程度(募集、市職員ほか)	
② <u>ワークショップ成果発表</u> (ワークショップの様子や実績を展示発表する)	
[開催回数] 2回 (9月、1月、いずれも1週間程度の展示・プレゼン)	
[会場] 御殿場市役所 (もしくは御殿場市民会館、市民交流センター「ふじざくら」)	

事業名、日時、場所、対象者(予定される人数)、趣旨・目的、どのような

公益的活動かを記入してください。

具体的な対象、人数の想定、会場予定や実施内容などがあると、よりわかりやすいと思います。

# 収支予算書

【収入の部】  
市補助金のほか、どのような財源によって事業を行うのかを書いてください。  
説明欄には具体的な内容を書いてください。  
(単位:円)

## 収入の部

区 分	金 額	説 明
市民活動支援事業補助金	30,000	御殿場市より
自己負担	10,000	会費 (@2,000 円×5)
合 計	40,000	…A

## 支出の部

区 分	金 額	説 明
印刷製本費	5,000	ワークショップ資料印刷代
消耗品費	16,000	模造紙、サインペン、付箋 ほか ワークショップ、展示用消耗品
使用料	12,000	会場使用料 (@2,000×6 回)
記念品代	5,000	成果発表時アンケート回答者への記念品 (@100×50 個)
雑費	2,000	支払手数料 ほか
合 計	40,000	…B

※ A=B

他の補助金 ☐ あり ☒ なし

「収入の部の合計額」と「支出の部の合計額」は必ず一致します。

【支出の部】  
事業を行うためにどのような経費をどの程度必要とするのかを書いてください。

## 団体の状況

### 【所在地】

原則として御殿場市内に活動拠点を有していることが補助の条件です。

フリガナ	キョウドウノマチヅクリヲヒロメルカイ
団 体 名	協働のまちづくりを広める会
所在地 (連絡先)	〒412-8601 御殿場市萩原 483 番地  電 話 0550-82-4308 FAX なし e-mail kyodo.gotemba@gmail.com
代表者氏名	協働 太郎
住 所	〒412-〇〇〇〇 御殿場市△△×××-×
電 話 番 号	090-XXXX-XXXX
F A X	なし
会 員 数	5 名 (うち御殿場市民 5 名)
主 な 活 動 内 容 ・ 実 績	御殿場市で開催された講座に参加し、ワークショップの面白さを知った 5 人のメンバーで、令和元年 4 月に設立。地域課題を幅広い年代の皆で考えていくための手法として「ワークショップ」に注目し、その楽しさ、面白さ、実施方法を広めていくことを目的として活動しています。 これまで、講座への参加や自治会での先進事例の視察、ワークショップの手法等の調査・研究を行うとともに、参加希望者を募っての定例ワークショップを月 1 回開催しています。
備 考	これまでのワークショップの実績は、別添のワークショップ資料及び報告書を参照

### 【団体の状況】

申請する市民活動団体の情報を記載してください。

団体の名称、所在地、構成員数などのほか、団体設立の経緯やこれまでの取り組み実績などを記載してください。